



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.961 2015年1月13日



新年のごあいさつ

一般社団法人電波産業会
会長 山西 健一郎

明けましておめでとうございます。年頭にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

会員の皆様には、平素から当会の事業に対し格段のご支援、ご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。お蔭さまで昨年も当会の業務のいずれも順調に推進することができました。これもひとえに会員の皆様方並びに総務省をはじめ関係団体のご支援、ご協力の賜物であり、改めて深く感謝する次第でございます。

昨年末の電波政策ビジョン懇談会最終報告では、2020年には電波そのものを事業活動の中核に据えている産業（電波関係産業：通信放送インフラ・サービスなど）の市場規模は27.9兆円、電波関係産業以外の電波を利用する産業（電波利用産業：スマートシティ、ヘルスケアなど）の市場規模が32.6兆円との予測が示されおり、電波産業の拡大が期待されます。電波産業の拡大による周波数需要の増大に対応するため、本年11月に開催されるITUのWRC-15では、移動通信への追加分配及びIMTへの特定などの議題が審議されます。アジア太平洋地域では、APTのAPG（APT-WRC準備グループ）がWRC-15に向けた準備をしており、AWG（APT無線グループ）がその技術検討を行っております。AWG第18回会合が3月には京都で開催されます。AWGは今会期から当会の佐藤常務理事が議長を務めます。

産業界を取りまく状況を顧みますと、通信分野においては、昨年末、総務省により第4世代移動通信システム（IMT-Advanced）の導入のための周波数割当が行われ、そのインフラ整備が本格化いたします。その先の第5世代移動通信（いわゆる5G）については「第5世代モバイル推進フォーラム」が設立され（昨年9月）、オールジャパン体制による検討が始まっています。さらに、自動車の危険回避や自動運転などITSの取り組みも活発化しているほか、ロボットのための電波利用、ワイヤレス電力伝送など新たな電波利用の拡大も進展しています。

放送分野においては、昨年9月、総務省で「4K・8K推進のためのロードマップ」が見直され、2020年の目指す姿として、“4K・8K放送が普及し、多くの視聴者が市販のテレビで4K・8K番組を楽しんでいる”とされました。その実現に向けて関係者の取り組みが加速しています。

また、V-Low帯の活用では、全国7ブロックのマルチメディア放送局及び中波放送の強靱化方策としてのFM方式による補完中継局の開局準備が着々と進んでいます。さらに、我が国の地デジ方式ISDB-Tの国際普及は拡大を続け、昨年末には、海外16カ国での採用が決定しています。

当会の目的は、電波を使って、産業を発展させ、国民生活を豊かにすることにあります。当会の会員相互は、電波産業に携わる企業として、良きパートナーであり、良きライバルです。互いの情報を共有し、アイデアを出し合い、切磋琢磨しながら、新たなシステムやサービスを開拓し、社会ニーズに応える場をARIBは提供してまいりたいと思います。今年、2020年に向けての第5世代移動通信の研究開発や標準化、4K・8K放送やITSの実用化の支援を着実に進めていくとともに、2020年以降を見据えた新たな電波利用の提案を発信していくことが我々の使命と考えます。本年5月にはARIB創立20周年を迎えます。通信・放送産業に関する調査・研究・開発、標準規格の策定、普及啓発、電波利用コンサルティング、国際連携等これまで実施してきた当会の事業活動にさらに磨きをかけ、積極的に取り組む決意であります。当会の事業に会員皆様方の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様方のますますのご発展とご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。

ARIBからのお知らせ

第127回電波利用懇話会開催のお知らせ 「2020年代に向けた情報通信政策の在り方」に関する 情報通信審議会答申と今後の展望について」

ARIB ニュース No.960 で既にお知らせしましたが、今回の電波利用懇話会では、総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 事業政策課の柴山佳徳調査官をお迎えして、答申内容をご紹介頂くとともに、議論の内容、今後の政策展開等についてご講演をいただきます。

なお、都合により開催日が、1月20日（火）から1月30日（金）へ変更となりましたので、既にお申込みの方もご注意ください。開始時間の変更はございません。

記

- 1 日 時：平成27年1月30日（金）14時から15時まで
- 2 場 所：一般社団法人電波産業会 会議室
東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
- 3 題 名：「2020年代に向けた情報通信政策の在り方」に関する
情報通信審議会答申と今後の展望について」
- 4 講 師：総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 事業政策課
調査官 柴山 佳徳様
- 5 対 象：ARIB 正会員及び賛助会員
- 6 参 加 者：60名程度（定員になり次第締め切らせていただきます。）
- 7 申 込 先：当会ホームページ (<http://www.arib.or.jp/>) の「講演会等開催案内」まで
- 8 参 加 費：無料
- 9 問 合 せ 先：企画国際部 電波利用懇話会事務局 辻道 まで
TEL: 03-5510-8592 E-mail: arib-seminar2014@arib.or.jp

第 26 回電波功績賞候補者の推薦依頼について

当会は、通信・放送分野における電波利用に関する調査研究、研究開発、標準規格策定、普及啓発等の事業、電波を有効に利用するための照会相談業務等のコンサルティング、関連外国機関との調整・協力等の事業を実施しております。電波の有効利用の普及を推進するため、電波の有効利用に関して特別の功績を上げた個人又は団体に毎年「電波功績賞」を授与しています。

更に平成 27 年は当会が創立 20 周年を迎えることを記念し、今回に限り、通常の表彰に加えて、創立 20 周年特別賞を授与します。

第 26 回電波功績賞候補者の推薦について、昨年 12 月 19 日、会員各位あて電子メールにてご案内いたしました。また、[ARIB ホームページの「お知らせ」](#)にも掲載しています。

会員各位の多数のご推薦をお願いいたします。

第 94 回規格会議の決議に基づく標準規格等の電子ファイルの公開について

2014 年 12 月 16 日に開催された第 94 回規格会議の決議に基づき、以下の標準規格の策定 1 件、改定 10 件、技術資料の改定 3 件の電子ファイルを ARIB Web サイトに公開しましたのでお知らせいたします。

- 1 IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Report
(ARIB STD-T63 / ARIB TR-T12 Ver.10.60)
- 2 IMT-2000 MC-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Report
(ARIB STD-T64 / ARIB TR-T13 Ver.6.90)
- 3 デジタル簡易無線局の無線設備標準規格
(ARIB STD- T98 1.4版)
- 4 LTE-Advanced System ARIB STANDARD
(ARIB STD-T104 Ver.2.60)
- 5 高度広帯域衛星デジタル放送用受信装置標準規格 (望ましい仕様)
(ARIB STD- B63 1.0版)
- 6 FM多重放送の運用上の標準規格
(ARIB STD-B3 1.4版)
- 7 デジタル放送におけるデータ放送符号化方式と伝送方式標準規格
(ARIB STD-B24 6.1版)
- 8 デジタル放送における映像符号化、音声符号化及び多重化方式標準規格
(ARIB STD-B32 3.1版)
- 9 セグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送の伝送方式標準規格
(ARIB STD-B46 2.1版)

- 10 セグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送用受信装置標準規格 (望ましい仕様)
(ARIB STD-B53 2.1版)
- 11 デジタル放送におけるMMTによるメディアトランスポート方式標準規格
(ARIB STD-B60 1.1版)
- 12 地上デジタルテレビジョン放送運用規定技術資料
(ARIB TR-B14 5.7版)

標準規格等の電子ファイルのダウンロードが初めての方は、以下のURLにある注意事項等を確認の上、行って下さい。標準規格等一覧も、このページからご覧になれます。

http://www.arib.or.jp/tyosakenkyu/kikaku_tushin/index.html

また、IPR 検索サービスについては、今回の規格会議での IPR 情報を近日中に更新する予定です。この検索サービスは以下の URL でご利用いただけます。

<http://www.arib.or.jp/tyosakenkyu/sakutei/IPR/index.php>

ARIBの動き

今週の ARIB 内会合 (1月13日～1月16日)

- 1月13日(火) : スタジオ設備開発部会 主任会議
(超高精細度TV スタジオ設備開発部会 主任会議と合同)
- 1月14日(水) : 第213回業務委員会
- 1月14日(水) : 放送国際標準化ワーキンググループ WG&SWG 会合
- 1月15日(木) : スタジオ設備開発部会 スタジオ映像作業班
(超高精細度TV スタジオ設備開発部会 映像システム検討作業班と合同)

今週の国際会合 (1月13日～1月16日)

参加を予定している会合はありません。

総務省からのお知らせ

電波利用環境委員会報告(案)に対する意見募集 —低周波領域における電波防護指針の在り方—

【平成26年12月26日発表】

情報通信審議会情報通信技術分科会電波利用環境委員会(主査:多氣昌生 首都大学東京 大学院理工学研究科 教授)は、平成26年1月から電波防護指針の在り方について検討を行ってまいりました。

このたび、電波防護指針の在り方のうち「低周波領域（10kHz 以上 10MHz 以下）における電波防護指針の在り方」について、委員会報告（案）を取りまとめましたので、本報告（案）について、平成 26 年 12 月 27 日（土）から平成 27 年 1 月 26 日（月）までの間、意見を募集することとします。

詳細については、[【平成 26 年 12 月 26 日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。

放送法施行規則の一部を改正する省令案等に係る意見募集
【平成 26 年 12 月 26 日発表】

総務省は、ケーブルテレビにおける超高精細度テレビジョン放送の導入に関する技術的条件について平成 26 年 12 月 9 日（火）に情報通信審議会から一部答申されたことを踏まえ、制度整備案を作成しました。つきましては、当該制度整備案に対し、平成 26 年 12 月 27 日（土）から平成 27 年 1 月 29 日（木）までの間、意見募集を行います。

詳細については、[【平成 26 年 12 月 26 日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。

電気通信事業法施行規則の一部を改正する省令案等に関する意見募集
－電気通信事故報告制度（基準・報告様式）に関する事項－
【平成 26 年 12 月 26 日発表】

総務省は、電気通信事業法施行規則（昭和 60 年郵政省令第 25 号）第 57 条及び第 58 条に定める重大な事故報告基準、報告の様式及び電気通信事業報告規則（昭和 63 年郵政省令第 46 号）第 7 条の 3 に定める電気通信事故の四半期報告様式を改正する省令案について、平成 26 年 12 月 27 日（土）から平成 27 年 1 月 30 日（金）までの間、意見を募集します。

詳細については、[【平成 26 年 12 月 26 日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

本年も ARIB ニュースをどうぞよろしく願いいたします。

仕事始めの週末が、成人の日を含む 3 連休となりましたが、いかがでしたでしょうか？

みなさんにとりまして素晴らしい 1 年になりますように。

（編集子：Oz）



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp